



第 63 回全国大会松山大会



第 63 回全国大会松山大会



10 月第 1 例会



第 49 回ブロック大会開催決定

10月9日(木)～12日(日)

第 63 回 全 国 大 会 松 山 大 会

於：ひめぎんホール 他



会員交流委員長
尾嶋 伸介

10月9日(木)～10月12日(日)にかけて第63回全国大会松山大会が大会テーマ『取り戻せ、日本の矜持を！～「ことばのちから」が「たくましい国」日本へと導く～』のもと開催され、当LOMからは二方理事長をはじめ6名の卒業予定者を含む、総勢20名のメンバーで参加して参りました。

11日は各セミナー、メインフォーラムに参加し、拡大委員会に出向されている吉尾君の活躍している姿も見る事が出来、その後の17時より城山公園一堀之内で開催された大懇親会では松山の名物と松山らしいおもてなしの中、大いに盛り上がる一日と成りました。

翌日の午前中に開催された大会式典式典の部では鈴木会頭の熱き思いのこもったスピーチを聴き、そ

の後に開催された卒業式の部では、当LOMから6名の卒業予定者が特設されたステージの上を歩き、全国のメンバーより祝福を受けました。

最後になりますが、参加下さいました多くのメンバーの皆様には心からの感謝を申し上げます。有難う御座いました。



10月第1例会

於：但馬空港ターミナルビル多目的ホール



総務委員長
大将 伸介

10月第1例会を但馬空港ターミナルビル多目的ホールにて開催した。講師には、立命館大学教育開発推進機構教授の陰山英男氏をお招きし、「男親にとっての家庭環境づくり」をテーマにご講演頂いた。

教員時代に経験された子どもの学力を左右する家庭環境の大切さと子育てにとって家庭に比重が置かれる中で地域の持つ役割の大切さをお話し頂き、家庭だけではなく地域社会に対して果たしていくべき男性の役割について学ぶとともに、青年会議所活動が地域に対して

担う役割を再認識する機会となった。

当日は、2015年度入会予定者の3名もオブザーバー参加され、全LOMメンバーが揃う例会を共に楽しんで頂ける機会となった。



10月18日(土)

第49回ブロック大会開催決定

於：ホテル フルーツ・フラワー

10月18日(土)兵庫ブロック協議会第5回会員会議所会議が三田の地で開催され、2016年度公益社団法人日本青年会議所近畿地区兵庫ブロック協議会第49回ブロック大会が豊岡で開催されることが決定いたしました。

2016年といえば創立55周年という節目の年であり、さらには大韓民国全州青年会議所との姉妹締結50周年という大きな節目を迎えた年でもあります。このかけがえのない機会です。得られる経験をメンバーの資質の向上と、LOMの進化へとつなげていけるよう、メンバー一同精一杯頑張ります。

(専務理事 小西 晴久)



■ 事業案内 ■

■12月第1例会

日 時 12月12日(金)18:00～20:10

場 所 じばさんTAJIMA5F豊岡靱協会ホール

■OB予定者を送る夕べ

日 時 12月12日(金)20:30～21:45

場 所 辻惣 だいえんかん

■年忘れ合同例会～大円環～

日 時 12月14日(日)18:00～21:00(受付17:00より)

場 所 西村屋ホテル招月庭 白陽の間

広報誌「絆」600号記念誌の発行



9月に達しました広報誌「絆」600号の発行を祝い、501号から刻まれている汗と情熱の大成として600号記念誌を発行致しました。メンバーには10月第1例会にて配布し、特別会員の皆様には配送をさせて頂きました。我々現役メンバーと先輩諸兄の活動や想いが記された記念誌を、当時を懐かしみ、今後の活動の糧として活用して頂きたいと思ひます。

(広報委員長 中島 丈裕)

■編集後記■

「有り難い」

「ありがとう」は、一般的に感謝やお礼の心を表す日常語として常識になっています。普段なにげなく使っていますが、語源は「有り難し」という仏教語で、法句経というお経の、「ひとの生をうくるはかたき、死すべきものの、生命あるもありがたし」である、とされています。

さて、現在この地球上には多くの生命が生まれていますが、一番多いのは何かご存知でしょうか？生物の先生いわく、バクテリアやウィルスなどのミクロの世界の生物、微生物だそうです。例えば学校のグラウンドへ行き、「このいっぱいの砂が地球上の生命の数だとしたら、人間の数は？」と問うと、一握りの砂が人間の数になるそうです。これでは、人間に生まれる可能性は皆無でしょう。ある人は、人間に生まれる確率は三千億分の一だという人もいます。そう考えると、人間に生まれ、この様な多くのご縁を頂けるということは、とても奇跡的なことなのかもしれません。

「有り難い」は文字通り、有るのが困難、めったにない、珍しいという意味です。だからこそ、貴重である、かたじけない、もったいない、畏れ多いという感謝の気持ちを表す言葉になりました。どんな時でも、誰に対してでもすなおに「ありがとう」と言えるようになりたいものです。

(広報委員会)

発行日：平成26年11月14日

住 所：豊岡市幸町6番35号

TEL：0796-22-4041

発 行 所：一般社団法人豊岡青年会議所

編集発行人：広 報 委 員 会

印 刷：広 報 委 員 会